

平成30年度 徳島県立小松島西高等学校 学校評価 総括評価表

1 学校教育目標

教育基本法・学校教育法等の趣旨に則り、本県教育の基本方針・基本目標に準拠し、誠実で自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、徳島県やわが国及び国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。

2 本年度の重点課題

- 1 基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成に努め、キャリア教育を推進し、生徒の自己実現の支援を行う。
- 2 基本的生活習慣の確立を図るとともに、家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な生徒指導を行う。
- 3 互いの人格を尊重し、支え合う人間関係を築く能力を育てるとともに、いじめを許さない学校づくりを行う。
- 4 教職員の意識改革と資質向上を図るとともに、学校の組織力を向上させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを行う。

3 自己評価

重点目標	活動計画	評価指標	評価指標の達成度	総合評価
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや言葉遣い、身だしなみなどについての意識の向上を図り、基本的生活習慣の確立を図る。 ・毎朝登校指導を行い、多遅刻者には学年団や保護者と連携し改善に努める。 ・朝の5分間学習を年間100回以上実施する。 ・スーパーオンリーワンハイスクール事業を活用し県内唯一の学科を有する専門高校の強みを生かしながら人材の育成と魅力ある学校作りを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートで「課題や提出物を期限までに出している」生徒が全ての教科で100%を目指す。 ・年間遅刻者数を、前年より減少させる。 ・学校評価アンケートで家庭学習習慣の定着を示す項目の評価を前年より上昇させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートで「課題や提出物は期限までに出している。」生徒 95.2% ・昨年度約2割減少できたが、今年度は昨年とほぼ同等であった ・保護者アンケートで「学校は家庭学習の習慣づけの指導をしている。」の評価が前年から6%上昇 ・スーパーオンリーワンハイスクール事業最優秀校 	A
商業科	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で年間を通した補習を継続する。 ・コース選択制や教育課程の見直し、習熟度学習等の導入により学力の向上を図る。 ・全商珠算・電卓実務検定に積極的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜7限の補習を昨年同等に確保する。 ・全商簿記検定1級合格者数を前年より増加させる。 ・全商珠算・電卓実務検定合格者数を前年より増加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の関係で昨年より減少 ・前年より3人増加 ・前年より40人増加 	A
食物科	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生で週2回、1・2年生で週1回の7時間目の授業や長期休業中の特別授業、集中講義を実施する。 ・授業内容定着のため、小テスト・実技テスト等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科技術検定(食物調理)合格率100% ・食育インストラクター合格率100% ・技術考査合格率100%を目指す。 ・料理コンクール等での入賞を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物調理1年98% 2・3年100% ・食育インストラクター 98.5% ・技術考査 100% ・簡単野菜たっぷり料理コンテスト優秀賞, 豆乳レシピコンテスト優秀学校賞 	A
生活文化科	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト・実技テスト等を実施し、知識・技術の定着を図り、各種検定の合格を目指す。 ・学校資産を活用し、徳島の伝統工芸の紹介と地域との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科技術検定(被服製作)4・3・2級は100%, 1級は85%以上, 色彩検定3級合格率50%以上 ・地域の学校・園及び住民を対象とした藍染め体験を年3回以上実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作4級100%, 3級79%, 2級73%, 1級90% ・色彩検定3級21% ・年間8回実施し、学校資産を地域貢献に活用できた。 	B
福祉科	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年毎週2回7限間目を実施し1単位につき35時間の授業時間を確保する。 ・各学年での長期休業中の集中講義や3年生を対象にした校外模擬試験を実施し、学習内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士模擬試験の平均得点率60%以上を目指す。 ・介護福祉士国家試験の合格率80%以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎編と応用編をそれぞれ2業者受験し、55%~69% ・合格率 93.9% 	A

4 学校関係者評価（主な意見など）

・卒業後社会に出ていく生徒も多いので細やかな生活面での指導に力を入れていただけてありがたい。企業研究発表・ミニカフェ・ファッションショー・介護実習などを通して生徒の自主性もより育つことを望んでいる。
 ・抽出の仕方によってアンケートの結果が高く出る場合があるので、アンケートの実施方法について検討する必要があるのではないか。

5 次年度への課題と今後の改善方策

・「高校生のための学びの基礎診断」の認定ツールにとらわれず、学校生活の様子、校内外での地域連携・社会貢献活動、検定・国試の結果などを検証し、商業科・食物科・生活文化科・福祉科それぞれの目指す人材の育成を図る。
 ・PTA総会や学校のホームページ等での発信を強化し、地域・保護者の理解・協力をより一層仰ぎながら働き方改革を実行し、その成果を保護者アンケート等で検証する。